

第3回定例会を終えて



杉本 透

神奈川県議会議員
(足柄上区選出)

9月9日～10月15日まで、第3回定例会の前半が開催されました。今回は6月補正予算後の状況の変化を踏まえ、早急に対応する必要がある事業について措置されました。

まず、大規模災害時に収集される膨大な情報を整理・分析するAI機能を分野横断的な政策立案等に活用するため、多様なデータを収集・蓄積するシステムに追加されました。

次に2027年に横浜で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」への出展に向け、庭園や展示施設の設計及び工事を実施するとともに、屋外演出及び屋内展示の企画・制

作を行うために、継続費を設定しました。

また、運転免許センターにおいて、令和7年8月からキヤッシュレス化を進めることに伴い自動決済機を導入するため、債務負担行為を設定しました。また、交番勤務の警察官及び起動隊員の暑さ対策として耐刃防護衣に対応した空調ベストを整備しました。

中小企業資金会計として、公益財団法人神奈川県産業振興センターが実施する設備の割賦販売及びリース事業に対する貸付金を拡大しました。近く開催されます衆議院議員選挙に向けて4億5千万円の補正も計上しました。今回の補正予算の総

額は一般会計、特別会計を合わせ3億6400万円となりました。

次に災害についてです。8月末から9月初めにかけて日本列島に猛威を振るった台風10号に伴う大雨により、県内各地で大雨が観測され、土砂災害や住宅浸水などの被害に見舞われました。

県では、災害対策本部を立ち上げ、国や市町村と調整し、県内5市5町(中井町、大井町等)に災害救助法の適用を決定しました。今後、住民の安全確保に全力で取り組んでまいります。

次に地震対策の強化ですが、国は「南海トラフ地震臨時情報」を発表し、その翌日の8月9日、県西部を震源とする最大震度5弱の地震が発生しました。地震対策で重要なことは、「住民の命を守る」ことを最優先に考え、しっかりと地震対策に取り組んでいかなければなりません。今後も、どのような災害が発生しても、皆様を守っていくために、しっかりと取り組んでまいります。